

太宰府中学校2学年だより

No.23

R1.11.26

文責：石橋 眞子

修学旅行に向けて3



修学旅行スローガン

Make a good memory ～感謝の心で歩む道～

修学旅行でたくさんのことを学び、「誰もが最高の笑顔になれる旅であってほしい」という願いをこめて、このスローガンを設定しました。

また、修学旅行ではたくさんの人たちの協力が必要なので、「感謝の心を大切に組み込む」ことを心がけていこうと決めました。
by修学旅行実行委員会

修学旅行まであと3週間あまりとなりました。

先週行った各係の取り組みでは、どの係も呼びかけや点検活動を行い、学年全体が「集団としての行動」を意識するようになりました。

棚の整理もきれいに整えられ、チャイム席も早めに席に着く習慣が身についてきました。学習道具の忘れ物もずいぶん減ったようです。前回の通信で書いた「リーダーを支える」よきフォロワーがたくさん増えたからだと思います。素晴らしいことです。

取り組みの結果は、後日実行委員会を通して発表されます。どの学級がどの取り組みを頑張ったか、楽しみにしておいてください。

今年の修学旅行は、京都・奈良・大阪とも「班別自由行動」を取り入れています。

先週から、京都や奈良の見学地を決める計画を立てています。どの班からも「〇〇寺に行こうよ」「△△寺から◇◇まで走ったら何とかかな」と楽しそうに話し合っています。

自由行動ですが、限られた時間の中で集団で動くので、個人のわがままはできません。

「自由」と「わがまま」って何が違うのでしょうか。

捉え方は千差万別ですが、次のたとえがわかりやすいのではないのでしょうか。

自由はできる（＝決められているルール）範囲で好きなことをする事。
わがままはできないことを無理をしてでもやろうとする事。

修学旅行だけでなく、サッカーなどのスポーツの世界でも、ひいては、世の中すべてが「自由」を尊重し「わがまま」を認めないから、安心して生活でき、スポーツを心から楽しむことができるのです。

「自由とわがままをはき違えないように」野口先生が何度もおっしゃっている言葉です。

今回の修学旅行で、皆さんが「自由とわがまま」をどこまで良識を持って判断できるのか、今回の取り組みの様子や、4月からの皆さんの成長の足跡から、「任せてみよう」と考えているのは、私だけではないと思います。